

前回(ここをクリック <https://www.osaka-c.ed.jp/blog/ibaraki-y/principal/2017/09/27-101738.html>)に続き、「府立支援学校を応援するベルギー在住の日本人妻から」の現地の秋の報告です。日本とは異なる環境保全に関する内容です。関心をもって頑張ってお読みの人は(ここをクリック [berugitayori910.pdf](#))ください。

8月迄の報告が「[ブログ](#)」を読んだご本人からのコメント

「[ブログ](#)」を読ませていただきました。少し恥ずかしい気持ちですが、今回は9月号、10月号をお送りします。

9月 Car Free Sunday(車を使わない日曜日の様子)について

皆さんは、車のない生活についてどう思いますか???

大阪の場合、電車がたくさん走っているため、もしかすると、それほど苦労しないかもしれませんね。ベルギーの場合はどうかというと、街中では多くの車が見られます。

ベルギーでは高速料金が無料ですし、ベルギーに住む人の多くは車を使っていると思います。



そんな中、9月17日日曜日は、車優先の現代の社会を考える日として、カーフリーサンデーというものがベルギーの首都ブリュッセルで実施されました。この日の朝9時~夜7時までは、一部を除き、車で走行することができません。代わりに、徒歩、自転車、ローラーブレード、などが推奨されました。あちこちに、レンタサイクルがあるので、この日はそれが無料で貸し出しされます。路面電車、地下鉄、バスは無料です。街のあちこちでお祭りのようなイベントがあるので、普段の休日よりもたくさんの方が街に出かけていました。車が使えないからと行って、家にいる必要は全くないんです。



当日の朝8時くらいでしょうか、車の音があまり聞こえてきません。朝9時になるとかなり静か

になりました。車の音は日常的に聞こえてくるものなので、この日初めて車の音が、結構うるさいことに気づかされました。



外に出ると、車が走っていない代わりに、自転車に乗っている人が道路の真ん中を軽やかに走っていました。

家族みんな自転車に乗る様子、若者同士が自転車の前輪をあげながら楽しんで走っている様子、歩道をゆっくり歩いている様子、たまに馬に乗っている様子も見られました。(馬もオッカーなんですよ!)いつもと同じ場所なのに、なんだか違う世界に来たような気分でした。車に乗っていない分、すれ違う人の顔がよく見えます。

どんな気持ちでそこを通っているのか、なんとなく伝わってきます。そういったことから、皆でこの道を共有してる、共存している、ということが素直に実感できた日になりました。車がほとんどない世界(救急車や身体障がいの方の車、パトカーなどは走ってもいいです)は、すごく新鮮で、たまになら、こういう日もありだなと思いました。

10月 Strike(ストライク)・洗濯物の環境保全について

ストライキって皆さんはどう思いますか???

じつはベルギーではストの日って言って、事前にこの日にストライキがありますよってお知らせされます。ある人に教えてもらったところ、ほぼ毎年この時期にあるそうです。実際に私たちにどんな影響があるのかというと、子どものいる方でしたら、「明日保育園ありますか?」と保育園の先生に質問しなければいけません。ちょっとびっくりすることに、お医者さんでも関係なくストップすることがあるようです。

地下鉄や路面電車は少ない本数になってしまいます。ベルギー人に後日、ストライキのことを聞くと、これらはごく普通のことなんだそうです。私が受けた印象としては、医者だろうと何だろうと、一人の人間に変わりはなく、ちゃんと人権があるということが表されているのかな、ということです。(ですが、ストライキのことはあまり理解していないので、あくまで個人的な想像と感想です。)駐在している日本人は、この日の流れにももちろん逆らうことはできないので、情報をしっかりキャッチしなければいけません。

それと、10月に限らずベルギーでは外に洗濯物を干してはいけません。

見た目が悪いからだそうです。ちなみにこれは法律で決まっているようです。日本人は外によく洗濯物を干しますよね?いつも通りやれば、はい法律違反です(笑)

私にとっては、こちらに来て、情報はかなり大事です。いろんな人と話すことが、生活していく力になっています。

以上です。また11月に次号をお送りさせていただきます。